

東芝深谷

[第27号]

OB会会報

OB会事務局
048(574)2014

ホームページ <http://www.lets-happy.net/toshibaob/>

OB会会報に寄せて



深谷事業所長

山崎 英昭

明けましておめでとうございませう。東芝深谷OB会の皆様におかれましては益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、昨年は(深)にとって大きな転換点となる一年でした。

一昨年「深谷事業所」に改称しTV量産からアフターサービス拠点へ変貌を遂げて以来、昨年にかけてその機能を更に進化・充実させるべく従業員一丸となって取り組んで参りましたが、国内市場の縮小やグローバル競争の激化など、デジタルプロダクツを取り巻く環境の変化は著しく、これに対応し更なる事業体質強化を図るため、昨年七月、事業構造改革の実施を発表致しました。これによりTV設計開発は(青)へ、アフターサービスは東芝メディア機器(株)並びに社外委託先等へ各々集約・移管することとなり、昨年末までにこれらを概ね完了するとともに、(深)管理体制についても効率化を進めております。

(深)は日本初のカラーTV専門工場として一九六五年の操業開始以来果たしてきた、東芝映像事業の中核拠点としての役割に終止符を打ったわけですが、(深)で諸先輩方

から受け継ぎ、長年脈々と培ってきた映像技術やモノづくりに懸ける情熱はいささかも失われることはありません。これらは各々移管先で引き継がれ、他の製品やサービスと融合・進化させることで、必ずや事業の更なる発展につながるものと確信しております。

今年もデジタルプロダクツ事業は厳しい状況のさなかにあります。が、これを打破すべく、付加価値の高い商品・サービスの創造や、東南アジアなど新興国の需要開拓、取込みなどに、カンパニーを挙げて挑戦で参ります。(深)で育んだ「REGZA」ブランドをさらに発展・飛躍させるべく、(深)メンバーはそれぞれ新たな歩みをスタートし、全力で取り組んで参ります。

末筆ながら、東芝深谷OB会の皆様の益々のご健勝を心よりお祈り申し上げます。

新年のご挨拶と

今後のOB会活動について



会長 齊藤 登

明けましておめでとうございませう。OB会員の皆様におかれましてはご家族お揃いで輝かしい2013年の新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は3・11復興の最中、経済環境は厳しいなかにもかかわらずOB会活動はグラウンド・ゴルフ大会、バス2台での研修旅行を東芝科学館・横浜中華街・東京スカイツリーへと、そして地域エリアの交流会、会員名簿の作成と配布等、OB会員の皆様には格別のご理解とご協力をいただき、OB会事業を大過なく遂行することが出来ましたこと衷心より厚く御礼申し上げます。

昨年を振り返りますと12年度の米経済誌フォーチュン誌による世界の500社の中に日本は68社で中国の73社に抜かれ、上位10社に中国企業3社に対し日本企業は10位ギリギリに1社がやつの結果となりました。

これも製造原価に大きく影響する産業顧客向け電力コストの高騰が大きく影響してきている事も確かです。原子力発電の在り方につきましては長期ビジョンを図り、充分に検討する必要があります。

日本の製造業が世界家電業界で競争力の低下として表れ、その影響を受けてデジタルプロダクツ事業の青梅事業所への統合となつたわけですが、今後付加価値の大きい新たな商品群での見出しを期待したいところです。

OB会と致しましては自立元年となります。本年度の総会は5月に深谷駅近郊のグラウンドホテルを会場として開催予定です。別途ご案内

させて頂きますので多くの皆様の参加をお待ち致しております

今後、より会員間での絆の強化を図ることを目的として、交流と活性化を目指してまいりますので、さらなる会員皆様の「ご理解」と「協力」を宜しくお願い申し上げます。なお、4月以降「OB会事務局」を下記の通りといたします。

住所 深谷市普濟寺1356 5

齊藤 登

電話(048)585-2678
メールアドレス nsato@oliveochn.ejp

同好会活動

「写真」代表幹事：島津雅和

写真同好会の活動目標としては会則に「写真技術の向上を図ると共に、会員相互の親睦及び情報交換の場とする」と定めています。

「主な活動」 毎年1月に総会を開催し、前年度総括及び当年度の計画及び役員の承認を行う。総会終了後は新年会を開催し親睦を深めていきます。 奇数月は第2木曜日の夕

方に例会を開催、情報連絡会と写真評価会を行います。写真評価は講師をお招きし、会員が持参した写真を評価及びアドバイスを頂きます。

偶数月は撮影会に行きます。行先

は撮影会委員が中心となって撮影場所を選定し、計画を立案して例会で決定しています。撮影終了後は撮影地近くの温泉や居酒屋で一杯飲んだりして臨時の懇親会になる事もあります。

写真同好会の最大イベントは毎年秋に開催する写真展です。平成24年度はJR深谷駅の市民ギャラリーにて10月に3日間開催し、東芝深谷OB会の皆様や多くの一般の方々にもご来場頂きました。



「新会員募集」新緑や紅葉あるいは都会の夜景など季節に応じたベストの撮影地で撮影を楽しめます。時間があれば帰りに懇親会もあります。

東芝深谷OB会の会員及びご家族ならどなたでも入会出来ます。年会費は千円です。写真の好きな方、カメラの好きな方、写真同好会への参加をお待ちしています。

「インターネット」

代表幹事：梶山 實

今や家庭にパソコンが必需品となつている。パソコンの利用方法を知っているかどうかで利用効果と価値が決まる。

最初はメール、インターネット検索、はがき印刷、簡単な書類作成の利用が多い。もっと、パソコンを応用・活用する教室を同好会で開催している。

教室は深谷市内の公民館の教室を借りる関係上、名称を「深谷・シニアパソコンクラブ」で登録し、一般市民も参加できるようにしている。開催は月末の月曜日(原則)の午後3時間を上柴公民館(通称キララ上柴)で実施している。

具体的には、パソコン利用範囲の拡大を講座にしている。関連図を示すと下図の様になっている。

応用の一例では、デジタル画像をアルバム作成、加工してメールに、音楽CDやDVDの作成・コピーなどもある。講座を楽しむために呑み会



なども行い、写真を教材にしている。パソコン教室は24名まで出来ます。まだ空きがあります、興味のある方はご入会下さい。

連絡先 048-572-2863
Email: kajisan@bb.kn.et.n.jp

「軽ハイキング」

代表幹事：仙波照男

軽ハイキング同好会は野山を駆けずり回るだけでなく、関東周辺の旧所名跡などへ電車や自動車を利用し、春には新緑、秋には紅葉を追いかけて会員の親睦維持、知識の拡大を目的に行なっています。

見学して新たな発見をすること

も一つの考えと思いい計画に取り入れていきます。

24年春のハイキングは5月16日の「官の山ハイキング」でした。場所は埼玉県小川町で高さ350m、歩行時間約4時間、歩行距離約10km、参加者は16名でした。

感想・自的地に着くまでの様々な光景や今まで体験できなかった事、動物、花にも出合うこともあり、心が洗われる思いがしました。

なお、平成二十五年度は幹事が交代する予定です。



「将棋」

代表幹事：笹島義雄

将棋同好会は発足して16年目になります。年を増すごとに会員も増えて、多い時は35名以上になり二組に分かれて月例大会を開くようになりました。

現在会員数は26名ですが、幡羅公民館に登録して、毎月第1週の水曜日に月例大会を実施しています。最近健康上の理由などにより脱会者が増えていますが、月例大会の参加者は16〜20名です。

平成24年10月に忘年会を兼ねて研修旅行を実施しましたが、参加者は15名ギリギリで送迎バスを利用することが出来、草津良いところ温泉と将棋三昧を楽しみました。

1月から12月までの間で次の年間賞がありますが、獲得は難しいので、皆勤賞を狙って毎月参加している人は私を含め数名あります。(年間賞には 最多勝率賞 個人初戦勝ち星賞がある)

将棋は八百長がなくクリーンなゲームです。年齢に関係なく誰と何処でも楽しめます。勝つためには体力が必要です。昭和11年生まれのメンバー5名は、後期高齢者になっても発足当時から全員元気です。将棋の好きな方、同好会加入をお待ちしています。

「グラウンド・ゴルフ」

代表幹事：三井敏英

会員は62名で、内女性会員が13名です。

女性の参加はOB会員の奥様、工場で働いたことがある人などで、グ

ラウンド・ゴルフが好きな人が参加しています。練習は、毎月第1木曜日、自主練習日として第3木曜日午前9時頃から東公園(長谷川香料西側)で行っています。数ある同好会の中でも女性が参加しているのはこの同好会だけです。からとにかく花があつて楽しい同好会です。

一年に一度は一泊で、昼はグラウンド・ゴルフ三昧、夜はお酒にカラオケにと大いに楽しみました。

24年度は、コニファー いわびつ(群馬中之条の手前)で実施し、記念写真を撮りました。コースもよし、例年より多いプレーを行い楽しんできました。

グラウンド・ゴルフは、**唯もが**



いつでも、どこでも、いつまでもできる生涯スポーツとして昭和57年に誕生しましたが今では多くの人々に愛好され、全国的なスポーツとして広く普及しています。私たちもこの精神に則り何時までも元気で活動していきます。入会したい方は是非練習日に直接お出かけ下さい。

「そば打ち同好会」発足

代表幹事：

中林 宏



当同好会は「そば打ち康寿会」と称し、平成二十三年五月に出来た当OB会で最も若い同好会です。現在の会員数は十名です。

主な活動内容は渋沢記念館での毎月第四木曜日の「そば打ち例会」と年二回の「そば食べ歩き研修会」で春は日帰り、秋は一泊でそばの有名地へ出掛け楽しんでいきます。

更に当同好会の自慢は常に北海道産石臼挽きそば粉の使用にこだわっている事と、そば汁は北海道産昆布とかつお節で作ることで、そば打ちは、初心者でも一度指導を受ければすぐ出来ます、しかしこれで満足と云うそばはなかなか打てません。これがそば打ちの奥の深いところなんです。

見て綺麗で舌触り歯ざわりが滑

らからで、噛んだとき腰があり、もちもち感があることが美味しいそばの定義です。

一度でも自分で打ったそばを食べたらその魅力に取り付かれるでしょう。

皆さんもやってみませんか。
電話(048)57112233

ボランティア活動

「ひまあり」代表：渡部和夫

トピックス

(1)平成24年11月19日に埼玉県社会福祉大会が埼玉会館で開催され「福祉イベントボランティアひまあり」は他の3団体と共に大会会長(埼玉県知事)から表彰を受けました。

川柳

石井忠孝

OB懇杯を目線に呵呵大笑
ボランティアありがとうにお互いさま
上達にダンブ二台打てとゴルフ球
パソコンの写真綴り家庭史に
カラオケは腹から声と会長が
悠久の湯と宴の小旅行
鯉ふるう脳裏に育つ秋野菜
夏の朝メタボのウォーカー急に増え
通る人ラジオ体操真似ながら
人生はもうとまだの綱引きだ

(2)平成24年12月7日に「ボランティアの集い」が深谷市ボランティア交流センターで開催され、参加した28団体の中から「ひまあり」を含む3団体が活動の発表をしました。また、当日は9班に分かれて情報交換会が行われ、活発な意見交換がなされました。



鮭の飼育

加藤 厚

鮭の生息は、利根川が南限と聞いており、深谷では縁が無いもの思っていました。ところが、家内が市民大学で鮭の卵を貰ってきて育てたのが始まりで、今年で三年目になります。

卵を水槽に入れ数日すると橙色の卵(栄養の袋)の中で動きだし、やがて袋から出て寝ています。その後お腹に袋を抱えたまま泳ぎだしますが、赤ん坊のヨチヨチ歩きに似ています。栄養の袋が無くなるとエサを食べ出し、泳ぎも速くなります。この頃の生長の過程に変化がありとても可愛いです。飼われたそれぞれの家庭では、きっとこれまでは無かった会話が生まれたのではないのでしょうか？

二月二三日行われる放流会は大勢の人が来て、子供達の宝探しやトン汁の振る舞い等で賑います。放流場所にも遡上しているようで、その光景が見られたら感激ですね。行田市(利根大堰の魚道)インターネット検索可)で見られるとのことで行ったが短時間では見られませんでした。今年もOB会員や近所の方が飼育されており、放流会が楽しみです。なお飼育に興味のある方はご一報ください(048)583-2663



利根川の放流会



西田安夫さんが二十三年十一月
宗方半六さんが二十三年十二月
田中牛松さんが二十四年八月
小柏賢一さんが二十四年十月
高橋靖男さんが二十四年十一月
池田重郎さんが二十四年十一月
ご逝去されました。
謹んでお悔やみ申し上げます。

(編集) 広報担当：遠藤保明